

第2章 稲荷地区の概況

稲荷地区は、JR稲荷駅と京阪伏見稲荷駅を中心とした徒歩圏内（両駅から概ね半径500m～1km圏内）の地区です。この稲荷地区の概況として、地区の位置及び特性、稲荷地区のある伏見区及び東山区の人口、高齢化率の推移及び地区内の公共交通機関並びに施設の立地状況を示します。

1 稲荷地区の位置及び特性

稲荷地区は、JR稲荷駅及び京阪伏見稲荷駅を中心とした伏見区と東山区にまたがる地域で、全国稲荷神社の総本社である伏見稲荷大社を擁する地区です。JR稲荷駅前には町家の点在する本町通（伏見街道）があり、街道の面影を今に伝え、全国各地からの参拝者が集まる賑やかな通りとなっています。また、龍谷大学などの教育施設が立地する文教地区となっています。

図-3 東山区・伏見区の位置

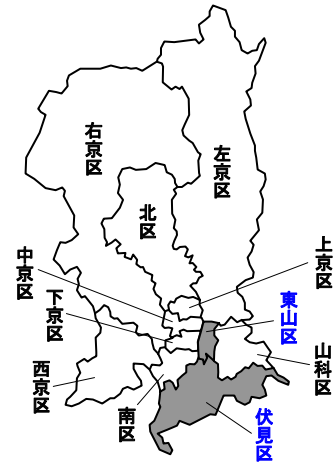
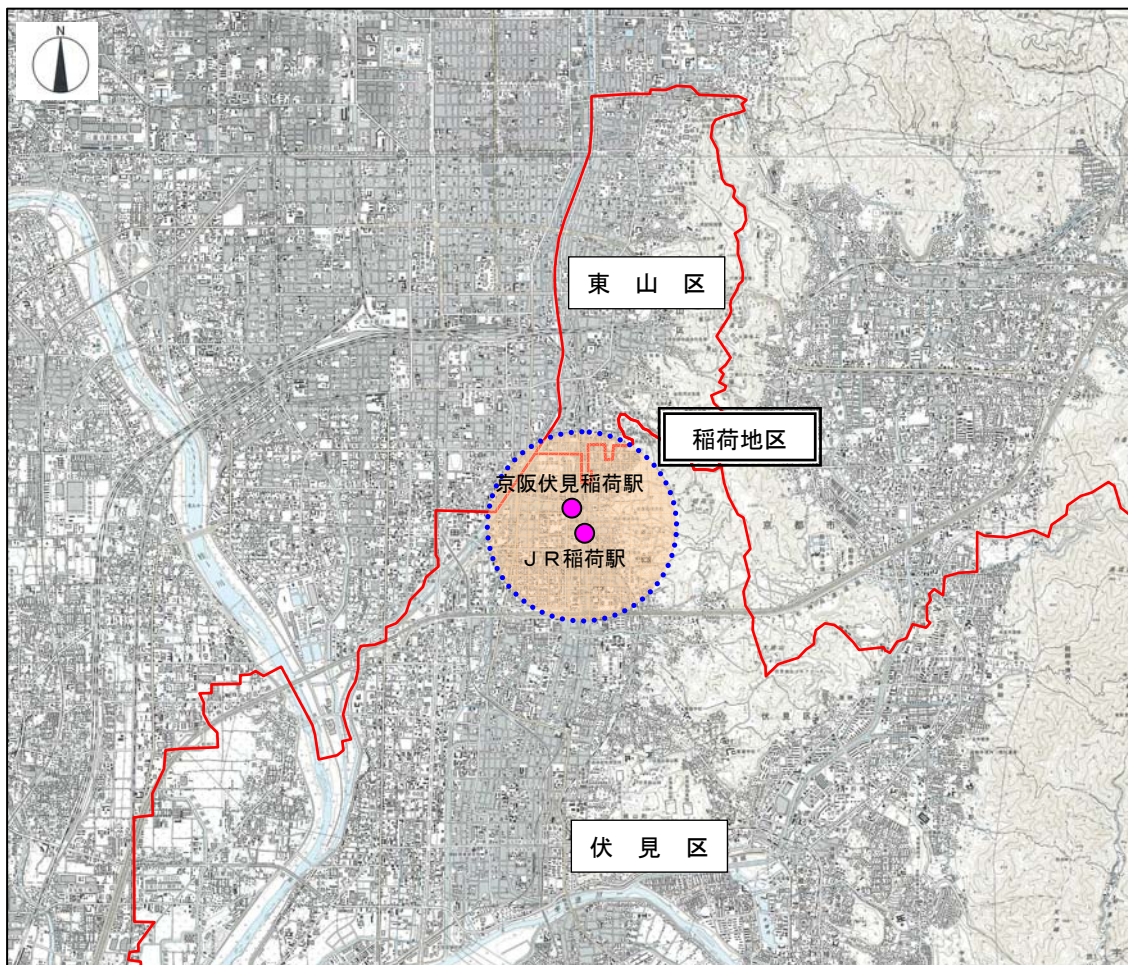


図-4 稲荷地区の位置



2 各区の人口・高齢化率の推移等

稲荷地区は伏見区及び東山区にまたがる地区で、伏見区では人口の増加が続いていましたが、近年において減少に転じており、稲荷地区の北側に位置する東山区では減少が続いています。一方、高齢者人口は両区とも増加しています。

高齢化率については、伏見区では京都市や全国平均よりも低くなっていますが、東山区では高くなっており、高齢化の進展が著しい区となっています。また、高齢化率を学区別に見ると、稲荷学区と月輪学区で高齢化の進展が著しいものの、砂川学区では京都市や全国平均とほぼ同様の高齢化率を示しています。

身体に障害のある方のうち障害者手帳を持っておられる方は、伏見区及び東山区に京都市の24.6%が居住しており、これはこの2区の京都市における人口割合22.2%を上回っています。身体障害者の種類別に見ると、肢体不自由による歩いての移動が困難な方が多くなっています。また、内部障害の方も多くなっています。

表-2 総人口、高齢者（65歳以上）人口及び高齢化率の推移（国勢調査、平成17年のみ推計）

	伏見区			東山区			京都市	全国平均
	総人口	高齢者人口	高齢化率	総人口	高齢者人口	高齢化率	高齢化率	高齢化率
平成2年	280,276	26,884	9.6	51,171	10,138	19.8	12.7	12.0
平成7年	285,961	33,377	11.7	48,241	10,805	22.4	14.6	14.5
平成12年	287,909	43,094	15.0	44,813	11,418	25.5	17.2	17.3
平成17年	284,879	51,597	18.1	41,795	11,864	28.4	20.1	19.9

図-5 稲荷地区の中心となる学区別の高齢化率の推移（京都市統計書）

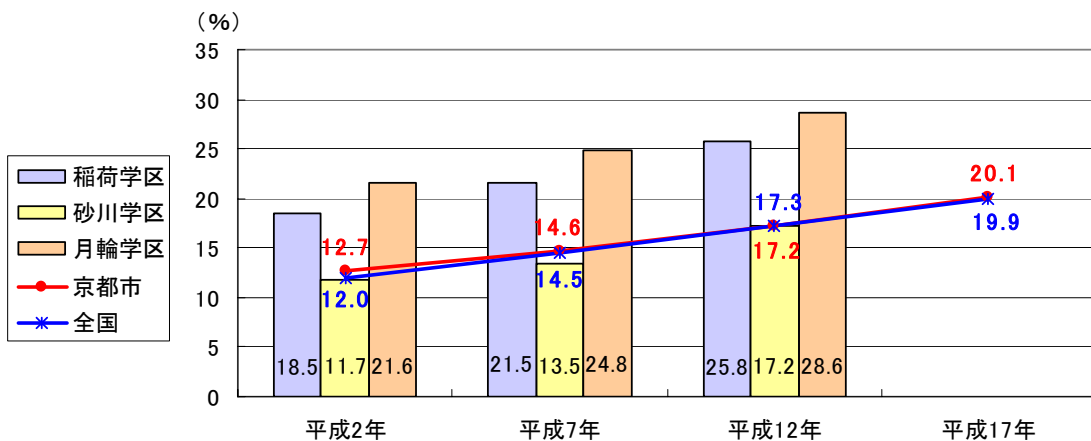
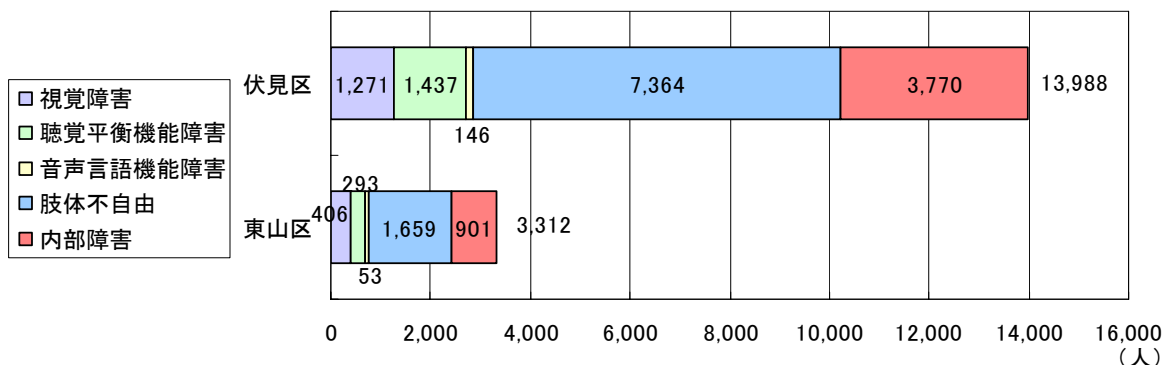


図-6 障害別の身体障害者数（平成17年京都市統計書）



3 稲荷地区内の公共交通機関

(1) 鉄道

稲荷地区には、JR 奈良線の稲荷駅及び京阪本線の伏見稲荷駅の2駅があり、共に1日平均利用者数が5,000人以上の特定旅客施設となっています。

表-3 稲荷地区内の鉄道駅の1日の利用状況

	1日平均利用者数(人) (平成17年)	1日の発着本数 (平成18年9月現在)	
		平日	土曜・休日
JR 稲荷駅	10,110	140	135
京阪伏見稲荷駅	7,356	338	351

(2) バス

稲荷地区内では、京都市営バスが運行されており、一般国道24号と師団街道にバス停が設置されています。現在、一般国道24号と師団街道に1系統ずつが運行されており、一般国道24号には京都駅と横大路車庫を結ぶ路線が、師団街道には京都駅と竹田駅東口を結ぶ路線が運行されています。

表-4 バスの1日の発着本数(平成18年9月現在)

	系統数	路線数	1日の運行便数		
			平日	土曜日	休日
師団街道 (稲荷大社前)	1	2	44	33	33
一般国道24号 (勸進橋)	1	4	132	98	98

4 稲荷地区内の施設の立地状況

稲荷地区内には、全国稲荷神社の総本社である伏見稲荷大社をはじめ、龍谷大学、伏見工業高校や立命館高校・中学校といった教育・文化施設が立地しています。また、師団街道沿いには京都府警察学校が、本町通沿いには病院施設が立地しています。商業施設では、伏見工業高校南側にライフ伏見深草店が立地しています。

稲荷地区内の施設の立地状況を図-7に示します。

図-7 稲荷地区の施設と学区

